事例No.	2719
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	シェアビレッジ・プロジェクト

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・公共施設活用 ・歳入確保

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

シェアビレッジ・プロジェクト

出典

令和２年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

シェアビレッジ・プロジェクト　秋田県五城目町

観光振興・交流　コミュニティ

概　要

五城目町の町村という集落には、築１３０年以上経過している茅葺古民家があるが、維持費がかかることや管理者がいないことから、解体が検討されていた。この歴史ある古民家を後世に伝えていくために、古民家を村に見立てた「シェアビレッジ」を創設。年貢（年会費）を払うことで村民（会員）となることができ、年貢をもとに古民家の修繕費等を捻出。古民家への関わりを通じて、都会と田舎がつながり学び合うコミュニティを育んでいる。



【一揆】

評価された点

・古民家を活用し、地域内外の人々が繋がり、学び合う新たなプラットフォームを構築している。クラウドファンディングや「年貢」制による域外からの気持ちのこもった資金調達も行われている。
・都市部の住民との新しい関係を創出しながら地域の文化資源を維持発展させる様々な仕組みが素晴らしい。
・【自主性】クラウドファンディングによる資金調達。【連携】村民と地元との交流。【独自性】多くの人で１つの家を支える仕組みの構築。【効果】県外からの移住者の出現。【発展性】全国への拠点の展開。
・新指向の地域づくりといえる。ＳＮＳによる発信に「都市と農村」のつなぎと付加価値（地域価値：米の消費など）を載せている。更にこのモデルを全国展開しており、他地域でも似た（決して同じではなく）取り組みができる可能性が認められる。



【東京寄合（日本橋ANDON）】



【里帰（集合写真）】